

記者発表資料

**「R3松本・岡谷出張所管内橋梁補修工事」において
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「見積活用方式」
「余裕期間制度」を試行します。併せて「難工事指定」「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R3松本・岡谷出張所管内橋梁補修工事」については、公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行を行うとともに、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されること、また、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、以下②、③を試行し、併せて④、⑤を採用します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「見積活用方式」

本工事は、渡河部での施工となるため、作業ヤードに制限があり作業効率の低下が懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③「余裕期間制度」

本工事は、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる「余裕期間制度」を採用します。

④「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

⑤「施工箇所が点在する工事の積算」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 電話 026-264-7001（代表）
副所長（技） 畦地 拓也（あぜち たくや） 管理第二課長 高橋 明（たかはし あきら）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R3^{まつもと}松本・^{あかや}岡谷出張所管内橋梁補修工事
- (2) 工事場所：長野県^{しおじり}塩尻市大字^{きゅうしおじりひがしやま}旧塩尻東山地先外
- (3) 工 期：契約の翌日から令和4年3月31日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容（概要）

橋梁補修工

伸縮装置取替工	1 式
ひび割れ補修工	1 式
断面修復工	1 式
橋面防水工	1 式
橋面舗装工	1 式
部材取替工	1 式
塗替塗装工	1 式
床版補強工	1 式
仮設工	1 式

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、橋梁補修工（ひび割れ補修工、断面修復工）に係るもの。

○見積の提出を求める理由

本工事は、国道19号東山橋外における橋梁補修工事です。

施工にあたっては、渡河部での施工となるため、作業ヤードに制限があり作業効率の低下が想定されることから、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積積算方式」を採用します。

《余裕期間制度について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和4年3月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《難工事指定について》

本工事は、施工箇所が点在する工事であることから、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《施工箇所が点在する工事の積算について》

点在する工事箇所

- ひがしやまぼし 東山橋（しおじり きゅうしおじりひがしやま 長野県塩尻市旧塩尻東山地先）
- しんいけざわぼし 新池沢橋（ひがしちくま いくさか しもいくの 長野県東筑摩郡生坂村下生野地先）
- きらねぼし 木舟橋（ちの かなざわ 長野県茅野市金沢地先）

《スケジュール》

- | | |
|----------------------|---------------|
| ○入札公告、入札説明書、見積依頼書の交付 | ：令和3年7月26日（月） |
| ○技術資料等、見積書の提出期限 | ：令和3年8月16日（月） |
| ○入札書、工事費内訳書の提出期限 | ：令和3年9月 8日（水） |
| ○開札日 | ：令和3年9月13日（月） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

